

社会資本総合整備計画の中間評価報告シート

いなみちょう
(印南町におけるりょうこう良好な生活環境及びせいかつかんきょうおよび防災環境ぼうさいかんきょうの形成けいせい(第2期)だいき)

いなみちょう
印南町

社会資本総合整備計画 中間評価書

令和02年12月25日

計画の名称	印南町における良好な生活環境及び防災環境の形成（第2期）												
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	印南町												
計画の目標	狭あい道路整備による良好な生活環境の形成（消防・交通安全対策）や、今後予想される南海地震による津波に備え、避難道路としての機能向上（防災対策）を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	60	A	60	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (R2末)
1	狭あい道路の整備により、狭あい道路隣接住宅の減少（生活・防災環境改善） 整備する狭あい道路隣接住宅数を計画期間内で0軒にする	37軒	17軒	0軒

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

中間評価

○中間評価の実施体制、実施時期

中間評価の実施体制

印南町において評価を実施

中間評価の実施時期

平成30年4月10日

公表の方法

印南町ホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

本計画での成果として、狭あい道路隣接数が17軒まで減少した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

本計画による狭あい道路解消路線において、整備後に新築住宅が建設されるなど、事業効果が表れている。

○特記事項（今後の方針等）

引き続き狭あい路線の解消を図ることにより交通環境を整え、災害時等の緊急車両の通行をスムーズに行えるなど、住民が安全・安心を実現できる居住環境の向上を目指した施策を行うとともに、若者の定住促進を図り、生活基盤の充実したまちづくりを行う。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	中間 目標値	17軒
	中間 実績値	17軒

